

べっぴ

市議会だより

2009. 2. 1

No.

91



別府公園の白梅

「平成19年度 一般会計・各特別会計決算を認定」

CONTENTS

P 2～4 議決内容ほか

P 5 議案質疑「別府市敬老祝金条例の一部改正について」
「指定管理者の指定について」

P 6～11 一般質問（19人が市政を問う）

P 12 議会活動状況 ほか

議決内容

12月定例会は、初日に決算特別委員会委員長より継続審査中の平成19年度一般会計・各特別会計の決算の認定について審査報告がなされ、討論、採決の結果認定されました。この後、補正予算や条例案件など26件の議案が上程され、市長の提案理由の説明に対する質疑の後、所管の常任委員会へ付託されました。最終日に所管の各委員会の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、一部に附帯決議を付して原案のとおり可決されました。

継続審査

◎ 平成19年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成19年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について

(認定)

去る9月定例会において継続審査中の「議第86号平成19年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成19年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について」は、10月29日、30日の2日間に行われ、決算審査を行いました。委員長から、一般会計、各特別会計とも概ね良好な状況で決算ができたものと思えるが、今後も地方交付税の減少傾向、市税収入の横ばい推移、また、広域圏事業に係る新たな別府市負担などを考えると、厳しい財政状況が続くものと

考えられることから、さらなる行財政改革の推進と、

市税、使用料等の滞納整理、

補助金問題、広告費の効果

検証など一層の健全化への

取り組みが不可欠である等

意見が述べられました。

補正予算

◎ 平成20年度別府市一般会計補正予算 (原案可決)

今回補正する額は、6千

20万円です。これを既決

予算に加えると総額430

億2千270万円となります。

総務費では、今年度から

導入された「ふるさと納税

制度」を活用し、広く全国

から寄附金を募るにあたり、

「湯のまち別府ふるさと応援

基金」の広報等に要する

経費及び同基金への積立金

を計上しています。

十二月定例会会期の経過

12月2日 議会運営委員会

4日 本会議(継続中の議案に対する委員長報告・

討論・表決、議案上程、提案理由の説明)

9日 本会議(議案質疑・委員会付託)

10日 本会議(一般質問)

11日 本会議(一般質問)、議会運営委員会

12日 本会議(一般質問)、議会報・ホームページ委員会

15日 本会議(一般質問)

16日 各常任委員会

19日 議会運営委員会、本会議(上程中の全議案に

対する委員長報告、討論、表決)

土木費では、実相寺中央

公園整備に係る事業認可の

延長申請に必要となる、基

本計画の作成委託料を計上

しています。

消防費では、救急体制の

充実、強化に対し、寄附金

をいただいたので、新型イ

ンフルエンザ対策用品やA

ED救急業務用資機材の整



12月 定例議会風景

備に要する経費を追加計上
しています。

◎ 平成20年度別府市国民
健康保険・公共下水道・地
方卸売市場・介護保険事業
特別会計補正予算

(原案可決)

今回補正する額は、9千
161万円で、下水道施設
の長寿命化計画策定に係る
基礎調査等の委託料等を計
上しています。

これを既決予算に加える
と、特別会計予算の総額は、
487億4千729万6千
円となります。

条例の制定

◎ 湯のまち別府ふるさと
応援基金条例の制定につい
て
(原案可決)
別府市を応援する方から

の寄附金を積み立て、活力
あるまちづくりに資する施
策を推進する財源に充てる
ため、基金を設置すること
に伴い、条例を制定するも
のです。

条例の一部改正

◎ 別府市手数料条例の一
部改正について (原案可決)
建築物に関する確認申請
手数料等の額の改定をする
ことに伴い、条例を改正す
るものです。

◎ 別府市特別会計条例の
一部改正について
(原案可決)

別府市湯都ピア浜脇事業
特別会計を廃止することに
伴い、条例を改正するもの
です。

◎ 別府市営体育施設の設
置及び管理に関する条例の
一部改正について
(原案可決)

相撲場を廃止することに
伴い、条例を改正するもの
です。

◎ 別府市敬老祝金条例の
一部改正について
(原案可決)

敬老祝金の支給方法及び
額を見直すこと等に伴い、
条例を改正するものです。

◎ 別府市中心障害者福祉
手当条例の一部改正につい
て
(原案可決)

心身障害者福祉手当を敬
老祝金の支給を受ける心身
障害者にも支給し、市町村
民税所得割が課される心身
障害者には支給しないとす
ることに伴い、条例を改正
するものです。

◎ 別府市リサイクル情報
センターの設置及び管理に
関する条例の一部改正につ
いて
(原案可決)

別府市勤労青少年ホーム
を廃止することに伴い、条
例を廃止するものです。

条例の廃止

◎ 別府市勤労青少年ホー
ムの設置及び管理に関する
条例の廃止について
(原案可決)

議員提出議案

議員より意見書7件が提出され、
6件が可決されました。

可決された意見書は直ちに関係機
関へ送付されました。

- 湯布院厚生年金病院と湯布院厚
生年金保養ホームの公的な医療・
保健施設としての存続を求める
意見書 (原案可決)
- 郵政三事業の利便性の確保を求
める意見書 (原案可決)
- 別府市における高等学校の「後
期再編整備計画」を見直し、地
域の声を十分反映したものとす
ることを求める意見書
(原案可決)
- 暮らせる年金の実現を求める意
見書 (原案可決)
- 「食の安全確保」への取り組み
強化を求める意見書 (原案可決)
- 農地取得の規制緩和に反対し、
優良農地の確保と有効利用を求
める意見書 (原案可決)
- 消費税の増税に反対する意見
書 (否決)

その他

◎ 指定管理者の指定について（附帯決議付原案可決）

地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、指定管理者に公の施設の管理を行わせる指定管理者を指定するものです。

・別府市コミュニティセンターの管理

（附帯決議①）

・総合体育館の管理

・公園テニスコートほか8

施設の管理（附帯決議①）

・弓道場及びアーチェリー

場の管理

・市民球場ほか5施設の管理

（附帯決議①）

・別府市社会福祉会館の管理

・別府市のヶ浜駐車場の管理

（附帯決議②）

・竹瓦温泉の管理

（附帯決議②）

・別府海浜砂湯の管理

（附帯決議②）

・北浜温泉の管理

（附帯決議②）

・別府市宮阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場及び

別府市神楽女駐車場の管理

（附帯決議②）

・別府市市民ホールの管理

附帯決議①

1 指定管理者指定までの公平

性や透明性を保つため、委員

員選定、選定基準の再考を

図ること。

2 指定管理者制度は、公募が

原則であり、任意指定枠の

削減に努めること。

3（財）別府市総合振興センタ

ーの今後の在り方について

早期に計画立案、実施する

様に指導・監督し、その経過等を議会へ報告すること。

（附帯決議②）

附帯決議②

1 審査過程で厳しい指摘を受けた（財）別府市総合振興セン

ターの今後の在り方について、

早急に計画立案すると共に

確実に実行すること。

2 現在の公の施設の将来の在

り方をまず検討した上で指

定管理者制度を導入する時

は指定管理者決定までの選

考基準や審査決定までの経

過の公表を更に進め、その

公平性、透明性を高めること。

3 任意指定を実施するときは、

その理由や内容等を市民の

納得いく形で明らかにし、十

分な説明責任を果たすこと。



▼行財政・議会改革等推進特別委員会が設置されました。

行財政改革・議会改革を含む市の総合的計画に関する調査・検討を行うと共に、その意見の反映を図るため行財政・議会改革等推進特別委員会を設置し、次のとおり委員が決まりました。

委員長	河野 数則	委員	黒木 愛一郎
副委員長	堀本 博行		平野 文活
委員	加藤 信康		池田 康雄
	松川 章三		山本 一成
	長野 恭紘		三ヶ尻 正友
	市原 隆生		内田 有彦
	猿渡 久子		浜野 弘
	吉富 英二郎		

▼選挙管理委員会委員及び補充員が決まりました。

別府市選挙管理委員会委員及び補充員が平成20年12月25日をもって任期満了となりましたので、地方自治法の規定に基づき、次の方々が新しい委員及び補充員に選ばれました。

委員	祝園 隆至	補充員	安部 暢明
委員	雨宮 洋子	補充員	塩崎 サツキ
委員	土岐 修	補充員	山田 桂三
委員	黒本 美耶子	補充員	工藤 美智子

議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

12月9日に5名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

別府市敬老祝金条例の一部改正について

問

敬老祝金条例の改正理由をお聞きしたい。

答

現行の敬老祝金は、国の社会保障体制がまだ確立されていない昭和37年に、公的年金の補完として「別府市敬老年金条例」の名称で施行されたのが始まりですが、現在では、種々の社会保障制度が確立されており、他市の状況等を踏まえ改正するものです。

問

改正の内容について説明願いたい。

答

現在の敬老祝金は、70歳から74歳は年額4,000円、75歳以上は年額7,000円を支給しています。改正後は、70歳、75歳、80歳、90歳の誕生日を迎えた方にそれぞれ1万円、100歳を迎えた方に10万円をお祝金として支給します。

問

敬老祝金の申請の方法についてお聞きしたい。

答

対象者には、誕生月に申請書と口座届を郵送し、提出していただきます。

問

制度改正の周知方法についてお聞きしたい。

答

市報に掲載し、また老人クラブなどの諸団体等にお知らせをする予定です。

問

制度改正によりお祝金が、5年、10年と間があくので、祝金支給のお知らせの際に「お祝いの言葉」を添えることによって、節目の実感がわくのではないかと思うがどうか。

答

考慮したいと思います。

指定管理者の指定について

問

指定管理者の選定の方法に

ついてお聞きしたい。

答

別府市ONSENツーリズム部及び別府市教育委員会指定管理候補者選定委員会が、応募者から提出された提案書類等により、審議、協議を行い選定したものです。

問

公募した7施設のうち5施設に、(財)別府市総合振興センターが選定された理由について説明願いたい。

答

公の施設としてのサービスの向上策や管理・運営の経験等が評価されたものです。

問

体育施設を任意指定(非公募)とした理由について説明願いたい。

答

市民体育の奨励及び健康の増進を推進するという施設の設置目的、業務の特殊性や専門性、政策的見地等から、公募になじまないものとして任意指定としました。

問

公募施設の指定期間を、3年から5年に変更した理由についてお聞きしたい。

答

指定管理者の積極的な事業運営展開、雇用の安定化と人材確保の向上などが、長期指定の方が図られると考えられるためです。

問

指定管理者制度は、地方自治法の改正により、公の施設の運営管理を民間業者やNPO法人、各種団体等に委ねることが本旨であると思われる。今後は、選定基準を明確にし、より広く民間の能力を積極的に導入してもらいたい。



べっぷアリーナ

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

12月10日から12日までと、15日の4日間、19名の議員が市当局の見解をたしました。

主な内容は次のとおりです。

南部振興の為の基本計画の進捗状況

自民党議員団

国実 久夫 議員

問 旧南小学校跡地での図書館、児童館、子育て支援センター等の複合公共施設の建設につきましては、去る9月議会で補正予算が認められましたが、その後の進捗状況は。

答 本事業計画は、議会終了後の9月19日から基本計画策定業務及びPFI導入可能性調査業務の公募型プロポーザル方式、



現在の旧南小学校跡地

いわゆる公募により提案者を募集し、選定の結果、東京の(財)日本経済研究所が選ばれ、11月7日業務委託契約を締結いたしました。11月26日に庁内検討委員会を行い、関係各課の意見要望をもとに原案づくりを行い、その後、地元住民への説明等を実施する中で調整を図りたい。

問 今後のスケジュールについての具体的な内容は。

答 基本計画業務では「敷地条件の整理」「基本方針及びコンセプトの策定」等の作業に取り組み、又、PFI導入可能業務については、「可能となる民間活力事業の検討及び整理」「公共施設部分の管理区分の検討」等に取り組み、その後、地元住民の皆様への説明会を実施し、ご意見等をいただきながら、3月中旬を目標に基本計画策定及びPFI導入可能性調査を終えて、業務完了を目指したいと考えております。

職員の特別待遇について

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

問 平成19年度、別府市は職員厚生会に1千800万円の負担金を出していますが、1千200万円を次のように遣っています。旅行に147万円、フラインス料理などの飲食に338万5千200円、ラクテンチなどのレジャー施設に468万6千円、合計807万1千200円を飲食や遊びに遣っています。この他に、ボーリング大会や大会出場補助金として165万円、市営温泉プールなどの利用に22万円を遣っています。別府の経済は本当に厳しく、ボーナスが出ない企業もある。1千人を超える職員がいるのに「税金をこんなに行事に遣うのはおかしい」と止める者がいなかっただのか。職員が、「税金でボーリングや食事をしている隣で、市民は自分の金で支払いをしている」市民の生活と職員の生活

には大きな開きがある。税金で、フラインス料理を食べ、旅行をしていいと考えているのか。職員厚生会への負担金を抜本的に見直し、廃止すべきではないか。

答 別府市の財政状況は厳しい。公務員を取り巻く社会情勢の変化もあるので抜本的に見直したい。

市庁舎へのIP電話の導入を

公明党

穴井 宏二 議員

問 本年第2回定例会でも質問させて頂いたが、その答弁においては、導入について考えていきたいとの答弁でありましたが、その後の経過をお聞きたい。

答 議員ご指摘の通り、本年第2回定例会におきましてIP電話のご提言を頂きました。その後、内部で経費面、市民サービス面等を種々調査十分に検討致しました。

来年度の予算編成 方針は

市民クラブ

原田 孝司 議員

問 内部で調査した結果、どの様に結果がなっているのか？内容を教えてもらいたい。

答 まず経費面では、概ね、年間で百万円から二百万円超の経費削減ができるのではと考えております。また、すべてをIP電話に移行した場合、回線がパンクする可能性も出るのと事ですので、アナログ回線もある程度確保する必要がありますのではないかと考えております。

問 検討結果は、経費削減に対して非常に良い結果が出ておりますが、今後の市庁舎、関連施設を含めて導入を計ってもらいたいと思うが具体的にどうなるのか？

答 関係部門と最終的に協議し、削減効果もある事から年度内に導入したいと考えております。

問 米国の金融危機をきっかけに世界的な景気の後退が進み、県内でも非正規労働者の解雇や企業の内定の取り消しなどが起きている中、これからの市財政も厳しいと考えられるが、社会的弱者への配慮をどのように考えているのか。

答 今後も厳しい財政運用が予想されるが、法律に基づいて支出する扶助費の確保は絶対条件であることとを十分に考慮するとともに、市が独自に行う高齢者施策や児童福祉施策等も含め、財政当局に予算要求していきたい。

問 教育関係予算編成はどのような方針を考えているのか。また、その中でも、学校に配置している「いきいきプラン事業」は、教育現場にとって「人を配置する」という最も重

要な施策だと考えているが、来年度はどのように配置していくのか。

答 「安心で安全な教育環境」に整備するため、校舎等の耐震補強工事を優先的に進めていきたい。「いきいきプラン事業」は今年度と同じ人員を配置するとともに、一人あたりの勤務時間数を147時間増やす方向で予算要求を行っている。

ポルトピアは 受け入れるべきでない

日本共産党議員団

平野 文活 議員

問 競輪場に場外券売場（ポルトピア）の設置計画があると聞くが本当か。地元には反対意見が多く、設置を受け入れるべきではない。

答 長崎県大村市から打診があり協議中である。市民と議会の考え方を最優先して判断したい。

問 急激な経済危機のもと、

融資条件の変更なども可能とした金融庁の指示を徹底すべき。また失業した労働者の生活支援を強めること。

答 金融庁の指示は関係者に周知したい。また生活資金貸与制度などを有効に活用したい。

問 学校図書館の充実のため「3つの提案」①専任司書の配置、②エアカン設置と夏休み開放、③蔵書の確保）をしてきたがどうか。

答 現状は1人の司書が3校かけもちだが、全学校への専任配置については平成21年度までの実績をみて判断したい。エアカン設置は平成22年度までに完了予定。夏休み開放は設置校から実施する方向で検討している。蔵書は国の基準を下まわらないようつとめる。

問 温暖化対策は待ったなしであり、プラスチック類を焼却しないようにすべきではないか。

答 2市1町で協議したい。

近鉄跡地計画は？ 国保税の引下げを

日本共産党議員団

猿渡 久子 議員

問 市の臨時・非常勤職員が全職員の3分の1をしめ、月給13万円程度で改善すべき。ポータスなどの状況は。

答 保険や有休はあるがポータス、通勤手当はない。ガイドラインを定め22年度より見直しを図りたい。

問 全国学力テストは過度の競争をおり差別を生むなど弊害が大きく公表すべきでないと考えているがどうか。

答 公表は保護者や地域住民への説明責任を果たす上で重要と考えるが、段階をふんで慎重に行いたい。

問 ゆめタウン誘致の際は、地元雇用千人、その内正社員50人、地元調達率は青果物62%、水産物50%と説明したが、しつかり検証すべき。



開店から1年を迎えた「ゆめタウン別府店」

答 財政状況等も勘案し判断したい。

環境整備及び 教育行政改革について

自民党議員団

野口 哲男 議員

答 地元雇用650人、本年度の市内の正社員雇用は13人。仕入れ面での波及効果は現在精査中である。

問 本多産建に近鉄跡地計画について聞いたが「今は何とも言えない。景気がよくなるしないとできないんじゃないか」との話だが中心市街地活性化基本計画認定取り消しにならないよう検討を。

答 本多産建はマンション計画は実施したいとの意向であり見守りたい。

問 一般会計からの繰り入れを増やし、高すぎる国保税の引き下げを。

問 別府市の道路は、歩道なし、狭あい、デコボコ、段差あり、観光地として不適合危険である。体系的に整備すべき。又、今年大々的な赤潮の発生等、生活汚水のタレ流しが問題。集中下水道、浄化槽等の整備を急ぐべきではないか。

答 通行量が多く危険性が高い路線等、順次整備を行っているが、上下水道ガス管布設等、部分掘削後の整備に問題もあり、今後厳しく指導したい。又、政府の一兆円規模の地域活力基盤創造交付金を活用し、観光地としての道路整備を推進したい。下水道整備は市民にとって必要な社会資本であり、更に普及促進に取り組みたい。

問 全国学力学習状況調査と基礎基本定着状況調査を学校別に公表すべき。又、教育行政改革で明らかにされた口利きに関与した教委幹部をはじめとした管理職、教職員組合等の問題を別府市教育委員会として、抜本改革をどのように進めるのか。

答 結果の公表については市民に対して説明責任を果たす上で検討課題と受けとめ、目的達成のため慎重に対応したい。教育改革については、教育委員会と学校現場の意識改革を図り、教育行政の信頼と児童生徒の教育活動の充実に全力を傾注したい。

別府県立移管と 小規模集落対策

社民クラブ

加藤 信康 議員

問 8月に出された大分県後期高校再編整備計画には、別府の将来のあり方検討委員会の意見が反映されていない。今後どうして

いくのか別府市としての基本姿勢を聞きたい。また、今の案では羽室台高校はなくなる。県立移管を大事にしすぎて地域の要望を忘れることのないよう求める。

答 市教育委員会としては、別府の県立移管が第一と考えている。今後も市としての要望・条件を示しながら、県教育委員会と十分協議を行っていく。

問 別府市山間部の小規模集落は高齢化が進み、すでに農業振興の域を越えて、福祉、医療、交通など生きるために必要なものが制限されつつある。すべて自己解決、家族任せで



県立移管が予定されている別府商業高等学校

いいのか、別府市として行動を起こす時期に来ていると思うがどうか。

答 特に高齢化が進んでいる地域をモデル地域に選定し、県とも協力しながらアンケートなど実態調査を行い、今後の対策を考えていきたい。

国体・障害者 スポーツ大会の経済効果

公明党

荒金 卓雄 議員

問 2つの大会による別府市内の経済波及効果は？

答 大会関係者の宿泊業務を担当した合同配宿センターの報告では、宿泊者数1万4千786人、延べ宿泊者数6万6千259人。宿泊単価を9500円で計算すると、宿泊費の概算総額は約6億3千万円と考える。もちろんこれ以外にも土産品・食事代・飲み物代・タクシー代・観光巡りなどで、多額の消費支出があったと考えるが把握はできて

いない。これら大会期間中の消費的支出以外にも、6競技会場に仮設物を設置するための委託料等で約5億2千万円、北浜公園の解体工事費等で約1億6千万円で合計6億8千万円を支出している。更には、青山プールの整備やセーリング艇庫の建設などの会場施設の整備費と、リハースル大会など過年度の消費支出なども合算して、経済波及効果は約43億6千万円と考える。なお、国体開催のために補助金が出て、別府市は少ない負担額で青山プールを一新することができた。今後とも各種の水泳競技会が開催できることで、国体終了後も大きな経済効果が図れると考える。

原動機付自転車等の 標識について

公明 党

市原 隆生 議員

問 原動機付自転車等の標識の規格はそれぞれの自治体の裁量で決めること

ができる。最近、観光振興や地域振興を目的として独自の標識を作成している自治体があるようだ。宮城県の登米市では米粒型のプレートに、「水の里・登米市」というキャッチフレーズを入れて注目を集めている。他にもこのような例はあるか。

答 愛媛県の松山市では、司馬遼太郎の小説の舞台となつてるところから『坂の上の雲』のまちづくりを進める中で、雲の形状をした中に「道後・松山市」として標識を作成している。また、これは原動機付自転車等の標識ではないが、静岡・山梨両県の13市町村で「富士山」ナンバーの交付が始まり大変な人気で大いに盛り上がっていると聞いている。

問 21世紀に残したい日本の風景百選で1位の「富士山」に続き、2位になった「湯けむり」の別府市として、ONSENツリズムを推進する上からも別府らしい取り組みはできないか。

答 「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」を推進する上で、市民の一体感の醸成のためにも効果があると考えており、研究させていたきたい。

別府競輪の現状と 運営について

自民党議員団

河野 数則 議員

問 競輪事業はその収益を一般会計へ繰入れ、市の財政運営に貢献しているが、現状の事業運営は本場赤字、場外発売へ依存するところが大きく、本場開催での収益確保が難しいなど



別府競輪場メインスタンド

の問題点もある。このような状況で競輪事業を取り巻く環境は非常に厳しく、ピーク時に比べ入場者数と車券売上額は3分の1、収益金の一般会計への繰入れは4分の1程度に落ち込んでいる。しかし、別府市は20数億円かけてリニューアルしたばかりでやるわけにはいかない。そこで、今後の競輪事業運営について、その考えを伺いたい。

答 ご指摘の通り競輪事業を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあります。収益事業は、収益を確保し財政運営へ貢献できないければ、その事業運営の意義がなくなることにもなります。幸い、別府競輪は経営体力がありますので、今のうちに一層の経費節減に取組み、競輪事業の継続へ努力して参りたいと考えています。具体的に経費節減対策として、①人件費の節減(退職人員の不補充)、②民間活力の導入(委託の推進)、③効率的な業務運営(車券発売の機械化)などを考えています。

ゴミ袋流通 システムについて

自民党議員団

松川 章三 議員

問 指定ゴミ袋の落札業者は、メーカー発注から配送まで全てを一連の作業としているのか？

答 落札業者はメーカー発注だけで、配送業者と取扱事務及び公金収納業者(別府市総合振興センター)とは、別府市が個別に契約をしている。

問 落札業者が配送、集金業務まで全てをするのが、通常の契約ではないのか？落札業者は指定ゴミ袋をメーカーに発注するだけの仕事であれば、落札業者(市内の卸売業者)は全く必要ない。メーカーに入札させればいいのか？

答 発注する業者に関しては、市内の物品登録業者の中の卸売業者等を指名し、入札の結果により落札業者に発注をしています。

問

仲介業者の振興センターと配送業者を合わせて、年間約1300万円もの余分なお金が支払われている。また落札業者（卸売業者）に至っては、指名業者が毎年一緒なため、入札価格が1枚につき1円値上がりをしている。ゴミ袋は年間約750万円の出費が増えていくということになる。中間業者を排除し、経費を削減するよう流通システムの改善を強く要望した。

市内公立高校4校の統合について

自民党議員団

長野 恭紘 議員

問

県教委は8月に「後期再編整備計画」を発表した。その内容は、市から要請のあった別府商業の県移管を含め検討した結果、青山高・羽室台高・別府の3校を統合し、鶴見丘高を単独で残す案であり、別府に公立高校が2つしかなくなるというものだ。今後、子どもの数が減少していく中でも、多様な

選択肢、公立高の定員枠の確保の上でも別府では

今後も公立3校の存続が絶対に必要なのである。市から県教委へ出された要望・条件の中にも、「別府が統合する場合、羽室台高との統合を検討してほしい」と明記されている。将来的な理想は、進学校の鶴見丘、単位制の青山、普通科・外国語科・商業系学科のある別府と羽室台の3校が存続していく事だと確信するが、今後その実現に向けてどの様な交渉を県としていくのか？

答

市からの要望・条件についても今後、県と話し合いを続けていく。また現在までの経過を踏まえ、別府の子どもたちのために市長として、県に積極的に働きかけていきたいと考えています。

公立幼稚園の存続が危うい？

市民の声クラブ

池田 康雄 議員

問

5才児の公立幼稚園

に通う園児の割合を平成16年から見てみると、

65.6%、59.8%、56.6%、55.9%、50.2%と下降している。別府市では平成16年からこれまで午後2時に帰宅させていた園児を預かり保育として3時半まで延長したが、野口、朝日、上人、鶴見、緑丘幼稚園などでは全員の園児がこれに参加している。保護者がこの措置を歓迎していることが分かる。その後家に帰れない、帰っても面倒をみてくれる人がいない園児たちは放課後児童クラブや私立の保育所に通うが、その数は184名で、公立幼稚園児の36.7%に当たる。ところが、別府市では昨年度より放課後児童クラブの補助対象者として幼稚園児数をカウントせず、

そのために19年度で240万円弱、本年度で320万円弱の補助金の削減をしている。これでは園児は降園後の居場所を失い、保護者は安心して公立幼稚園に通わせることができなくなる。市民の側に立つことを強調する浜田市政とも思

えない。速やかな改善を求めたい。

周産期救急医療体制と虐待について

自民党議員団

乙 咩 千代子 議員

問

周産期救急医療体制はどのように整備されていますか？

答

大分県立病院内に総合周産期母子医療センターが整備され、新生児集中治療管理室等を完備し、突発的な救急事態にいつでも対応できるようになっています。

問

周産期での胎児・新生児の死亡を防ぐ対策はありますか？

答

「妊娠11週以下での妊娠届け出率100%」を基本的事項として指導を行っています。届け出が遅くなればなるほど医師の適切な判断が受けられず、出産時のリスクも高くなると考えられます。

問

別府市内で児童虐待の相談を受けた件数はどのくらいありますか？

答

平成19年度、0歳から高校生まで123件ありました。

問

虐待の要因は何が考えられますか？

答

望まぬ妊娠、精神不安定、保護者自身が愛情不足で育った、育児に対する未熟さ等が考えられます。

問

予防策はありますか？

答

関係機関と密な連絡を取り合い、発生予防・早期発見・早期対応に努めることが重要だと考えています。

国体使用施設の維持管理について

自民党議員団

松川 峰生 議員

問

第63回国民体育大会が9月11日から6競技、第8回全国障害者スポーツ

大会も10月11日から4競技が開催されたが、この大会に向けて、様々な施設が整備され、特に、新設された市営セーリング艇庫、市営青山プール、床の工事を行ったべっふアリーナ等の今後の維持管理をどのように行っていくのか。

答 整備された施設を、今後のスポーツ振興及びスポーツ観光の為に維持管理していく事は大変重要だと考えております。市民の皆様やスポーツ観光に訪れた方に喜んでいただけるように、様々な施設に補修箇所が見つかりましたら、危険性・緊急性のある所から早急に修理を行い対応して参りたいと考えております。

問 施設は、傷んだら初期のうちにも補修をした方が施設自体の傷みも激しくならず、また費用も少なくてすむ。そこで、初期のうちに補修をする維持管理の予算を毎年計上すべきであると思う。スポーツ観光を推進している別府市としては、スポーツで別府市を訪れるお客

様を暖かく迎え、再度別府市に来ていただくためにも必要な事と考えますが、現在の施設整備費を含めて今後の計画は。

答 平成20年度は、修繕料・各施設整備工事費・突発工事等、約3千万円となっており、今後は6百万円程度は確保し、大規模工事につきましましては、年次計画で予算化していきたいと考えております。



国体使用施設として改修された市営青山プール

市立図書館について

日本共産党議員団

野田 紀子 議員

問 図書館を見れば、その都市の文化度が測れると言われる。旧南小跡地に新しい市立図書館建設計画があるが図書館一つでは、遠い地域の利用が不便ではとの心配がある。私は分館の必要性を議会質問したことがあるが、市は分館について、どう考えているか。

答 分館方式の必要を強く感じている。多くの図書館と連携を図るためネットワークシステムを整備する。

問 図書館づくりの基準と市民の声を取りあわせる方法とをどう考えているか。

答 「図書館法」、文科省「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」、日本図書館協会の「公立図書館の任務と目標」等に照らし合わせ「図書館協議会」の設置と必要に応じてア

ンケート調査や図書館利用者の意見や要望を聞く場を設けて住民ニーズを把握していく。

問 図書館で働く職員の守るべきモラルとして「図書館の自由に関する宣言」がある。2003年に指定管理者制度が始まり、日本図書館協会が「公立図書館の指定管理者制度について」と全国の調査の結果を公表している。参考にしていただきたい。

定額給付金について

公明党

堀本 博行 議員

問 定額給付金の給付総額の見込みはどのくらいか。

答 11月末現在数値で計算すると、別府市で約19億円程度になると試算しています。

問 支給方法はどのようになるのか。

答 原則として、郵送申請

方式、窓口申請方式、窓口現金受領方式、の組み合わせにより行うこととされています。特に現金支給については、危険性を避けるため口座給付が望ましいとされています。

問 物価の高騰による市民生活への影響について、また、今回の定額給付金に対する期待はどのように考えているのか。

答 急激な社会経済情勢の変化が押し寄せており、国民生活に深刻な影響を及ぼしていると認識している。国民所得は伸び悩んでおり、全国的な物価上昇と景気低迷は、国民の不安を募らせ、さらなる景気の減速感につながっていくのではないかと危惧しており、国の景気対策等をしっかりと見据えていかなければならないと考えています。また、定額給付金については、一定期間内に市内の各商店などで消費されれば、かなりの経済効果が出るものと期待しています。

平成20年 議会活動状況（平成20年1月～12月）

（1）本会議及び議決件数

区 分		会期日数	傍聴者数	市長提出 議案	議員提出 議案	その他	合計
定例会	第1回(3月)	28日	420人	42件	8件	2件	52件
	第2回(6月)	16日	194人	24件	3件	1件	28件
	第3回(9月)	12日	38人	22件	6件	1件	29件
	第4回(12月)	16日	118人	26件	7件	1件	34件
合 計		72日	770人	114件	24件	5件	143件

（2）常任委員会

区 分	開催日数	付託件数	調査会日数
総務文教委員会	8日	39件	1日
観光経済委員会	6日	22件	1日
厚生消防委員会	5日	40件	5日
建設水道委員会	6日	20件	1日
合 計	25日	121件	8日

（3）特別委員会

区 分	開催日数	付託件数
決算特別委員会	3日	1件
議会運営委員会	18日	—
各会派代表者会議	5日	—
全員協議会	1日	—
議会報・ホームページ 委員会	8日	—
行財政・議会改革等 推進特別委員会	1日	—
合 計	36日	1件

— メモ — 付託とは

議会の議決を要する事件について、議会の議決に先立ち詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会に審査を委託することを言います。

なお、付託される事件は、議案、請願、意見書決議など、議決を要するものとされています。

※この他に、議員が議会代表として、市長等より委嘱され、各種審議会・協議会委員として活動しています。

お 願 い

◎政治家が入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄附をすることは禁止されています。

◎政治家に、寄附を勧誘・要求することは禁止されています。

傍聴のご案内

◆本会議はどなたでも傍聴できます。お気軽に議会棟4階へお越しください。

◆傍聴席は80席あり、車椅子席も7台分用意しております。

◆聴覚障害者の皆様の議会傍聴については、手話通訳、要約筆記の対応をしております。

傍聴を希望される方は、傍聴日の3日前までに大分県聴覚障害者協会にお申し込みください。

（申込先）

大分県聴覚障害者協会

大分市大津町1丁目9番5号

TEL 097-551-2152

FAX 097-556-0556

◆次の定例会は2月25日(水)～3月25日(水)の29日間を予定しております。

※変更となる場合もあります。